

『典礼憲章』発布50周年記念講演会
50 YEARS OF SACROSANCTUM CONCILIUM

典礼刷新—これまでとこれから

日時／2015年9月23日(水・祝) 10時30分～16時
会場／カトリック岡山教会 聖堂

参加費／無料

〈講演〉

*典礼運動を指導した人々とその思い
—今、私たちに問いかけるもの

石井 祥裕 (上智大学非常勤講師)

*新しい福音宣教における典礼の意義
—行動的参加の観点から

市瀬 英昭 (神言修道会司祭)

*神への賛美としての典礼
—典礼における「歌うこと」の意義

南雲 正晴 (フランシスコ会司祭)

〈報告〉

*『ミサ典礼書』改訂の進捗状況と展望

宮越 俊光 (日本カトリック典礼委員会秘書)

お問い合わせ／日本カトリック典礼委員会
TEL: 03-5632-4445

主催／日本カトリック典礼委員会

協力／カトリック広島教区典礼委員会



1963年12月4日、第2バチカン公会議最初の公文書として『典礼憲章』が可決されました。『典礼憲章』の発布によって、カトリック教会の典礼は大きく変わり、その影響は他の諸教派にも及んでいます。第2バチカン公会議の閉幕50周年にあたる本年の講演会では、はじめに、第2バチカン公会議の典礼刷新を準備することになった典礼運動とその後の典礼刷新の歩みを振り返ります。続いて、「信仰年」（2012年10月11日～2013年11月24日）を機にカトリック教会が掲げた新しい福音宣教を推進するうえで、典礼がどのような役割を果たすことができるかを展望し、最後に、第2バチカン公会議後、典礼への会衆による行動的参加が奨励される中で、「歌うこと」による賛美の意義について考えます。

『典礼憲章』発布50周年を記念するこの講演会を通じて、第2バチカン公会議による典礼刷新の實りを心に刻み、典礼が「教会の活動が目指す頂点であり、同時に教会のあらゆる力が流れ出る源泉であること」（『典礼憲章』第10項参照）を思い起こしていただければ幸いです。

日本カトリック典礼委員会委員長
梅村 昌弘（横浜教区司教）

◆講演者紹介◆

石井 祥裕

上智大学神学部非常勤講師。1954年、北海道札幌市生まれ。上智大学大学院神学研究科博士前期課程修了後、インスブルック大学神学部博士課程修了。上智大学編『新カトリック大事典』（研究社）編纂実務委員。日本カトリック典礼委員会委員。

市瀬 英昭

神言修道会司祭。1951年、長崎県大村市生まれ。南山大学文学部卒業後、ローマ教皇庁立聖アンセルモ典礼学研究所修了。南山大学短期大学部教授、日本カトリック神学院講師。日本カトリック典礼委員会委員。

南雲正晴

フランススコ会司祭。1944年、群馬県沼田市生まれ。聖アントニオ神学院卒業後、ローマ教皇庁立聖アンセルモ典礼学研究所修了。聖アントニオ神学院教授、日本カトリック神学院講師。ローマ教皇庁典礼秘跡省顧問委員、日本カトリック典礼委員会委員。

4つの憲章を3分冊に。
勉強会等のテキストにも最適。



第二バチカン公会議
典礼憲章／神の啓示に
関する教義憲章

本体 550 円＋税 ISBN978-4-87750-182-2

教会憲章

本体 650 円＋税 ISBN978-4-87750-181-5

現代世界憲章

本体 650 円＋税 ISBN978-4-87750-180-8

発行：カトリック中央協議会 ☎03-5632-4429(出版部)